

調布「憲法ひろば」

「九条の会」調布のひろば・にゅーす

第3号

2月14日

2005年

発行＝憲法「九条の会」調布のひろば

FAX 番号：0424-83-1566 (大野気付)

E-Mail：chofu9jou@yahoo.co.jp

WEB サイト

http://www.geocities.jp/chofu9jou/index.ht



熱く語る高田健さん（「九条の会」事務局）

九条の会事務局 高田健さん大いに語る

上る日をめざして... 勝負はこれからだ。改憲に勝つかどうかは、私たちの運動が国民世論にどれだけ届くかにかかっている。そうは言っても、いままでの延長のやり方では勝てるかどうか分らない。私は「同円多心」の運動が重要だと思っっている。お互いに言いあっても好いけれど、「同円」の円だけは壊さない。そういう無数・多様な「心」を、もちにも職場にも家庭にも創り、力を蓄えよう。いっせいに立ち

第一回「憲法ひろば」には、「九条の会」事務局の高田健さんをゲストにお招きして「改憲問題をめぐる最新の状況と全国の動き」についてお聴きしました。大きな共感があふれました。

第1回調布「憲法ひろば」

壮大な「同円多心」の運動を！

2月13日の第1回調布「憲法ひろば」は60人余が会場に溢れました。

12・8 集会実行委員会で事務局を担当した大野さんが「集会」以降の経過を報告し、①「ひろば」を運営するために新しい世話人（別項）を選ぶこと、②当面の運営費・通信費は会合の都度、出席者が300円づつ拠出しあうこと、③原則として毎月例会を開くこと、④時間が足りないから夏頃には「合宿」などじっくりと話し合う場を工夫すること、などを提案。大きな拍手に包まれました。

11人の活動力が、それぞれの経験を話し合いました。

ご連絡のための手間と送料を節約するため、可能な限りメールとWEBサイトを活用しましょう。皆さんのメールアドレスを、上記事務局アドレスにご連絡ください。

座席も時間も譲り合って、六〇人余が出席



第1回「ひろば」会場いっばいの出席者のみなさん

3～4月の「憲法ひろば」

●第二回は三月十三日（日）

一三時三〇分

市民プラザ「あくろすホール」

国領駅北口（駅前のビルです）

堀尾輝久さんに「憲法と教育基本法」について問題提起していただき、参加者それぞれの経験や思いを交流します。

●第三回は四月十六日（土）

一三時三〇分

調布グリーン小ホール

「調布・子どもと教育を考える市民会議」の四・二六集会に賛同し合流します。

講演「学校窒息三分前」（ジャーナリスト・斎藤 貴男さん）

報告「子どもたちを戦争にひきよ

せる教科書」（歴史教育者協議会・石山 久男さん）

確認された当座の世話人のみなさん

以下の十六人のみなさんが世話人として確認されています。こんご更に多くの方にお願ひして行きましょう。

- 青木 道代・柴崎
- 浅野 智子・富士見町
- 石川 康子・布田
- 石山 昭男・西つつじヶ丘
- 大野 哲夫・菊野台
- 笹本 潤・布田
- 庄司 洋子・多摩川
- 鈴木 彰・多摩川
- 竹内 常一・深大寺北町
- 津田 櫓冬・富士見町
- 富永 信哉・深大寺東町
- 富永 りか・深大寺東町
- 古川ひろし・多摩川
- 堀尾 輝久・若葉町
- 丸山 重威・東つつじが丘
- 三宅 征子・柴崎

メール・アドレス登録してください

高田さんのお話の要旨

九四年の米朝「核危機」を契機にアメリカは日本に「集団的自衛権II日米攻守同盟」の強化を迫り、これに応える憲法改悪の策動が急速に進んだ！今日の事態は厳しい。

しかし、自民党・中曽根・鳩山由紀夫らは全面改憲を掲げているが、日本経団連は、①まず九条を変え、②同時に改憲案項を変え、③と言う二点に絞り込んだ改憲案を示しているという違いが生じていることは重要だ。これらの違いには、永田町では小選挙区制などの力を借りて護憲勢力を三三%以下に追い込んだことと、国民世論が「おいそれ」と改憲を許さないことを痛感している改憲側の思惑が現れている。彼らも短期間で一気に行くわけにはいかないのだ。